

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもプラス小塚教室		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 1日		2025年 2月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	2025年 2月 1日		2025年 2月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 12
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保育士をはじめ、児童指導員、運動療育指導員、作業療法士など、それぞれの分野の専門職員を配置し、きめ細やかな支援体制を心掛けています。	・発達面で特別な配慮が必要な子どもたちや、気がかりな様子が見られる児童に対する適切な支援方法について、定期的に会議を開催しています。これらの検討会では、専門的な知見を活かしながら、スタッフの対応力向上を図り、より効果的な支援ができるよう努めています。	・定期的な検討会の継続に加え、支援の質的向上を目指し、外部の専門家等を招き従業員向け研修会の実施など、新たな取り組みへの導入を検討していきます。
2	・職員同士のコミュニケーションを重視し、日常的に情報交換を行うことで透明性の高い職場の雰囲気作りに取り組んでいます。	・毎日の朝、昼、夕方のミーティングを活用してスタッフ間の情報交換を活発に行っています。また、管理者との定期的な面談を実施することで職員一人ひとりの意見や提案を直接聞く場を確保しています。	・全ての職員が自分の意見を自由に表現できる環境を整え、さらに積極的に取り組んでいくことを目指しています。
3	・保護者交流会や療育参観を通して、児童だけでなく保護者の支援にも積極的に取り組んでいます。	・児童やご家族に信頼していただけるよう、透明性の高い運営を心がけ、安心して子どもを通わせることができる環境づくりに努めています。	・将来的には保護者支援に加え、きょうだい間の交流を目的とした行事等の企画も検討していきます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保育施設や認定こども園などとの関わりや、地域の他の子供たちと触れ合う機会が限られているところがあります。	・事業所が実施している発達支援の取り組み等について、保育所や認定こども園への周知が足りていない部分があるかもしれません。	・モニタリングや担当者会議を活用して、事業所としての取り組みや支援方法について情報を共有しながら、保育所や認定こども園などとの連携を強化し、交流の場を設けることを検討していきます。
2	・緊急時の対応などについて、保護者や職員に対する説明が十分でない点があるように見受けられます。	・各種マニュアルは整備されていますが、それらの内容を保護者や職員に十分に伝える機会が不足している可能性があります。	・保護者への情報提供については、資料の配付や公式LINEなどを活用し、適切に周知を図ってまいります。また、緊急時の対応策について職員間で再確認する時間を設定し、避難訓練に限らず、様々な場面での対処方法や手順に関する共通認識を深める機会を増やしていきます。
3	・個人情報の取り扱い方について課題があると考えられます。	・裏紙などを置くための場所を設けているが、職員によっては個人情報の確認が不十分なまま誤って裏紙にしてしまうことがあると考えられます。	・改めて個人情報の取り扱いについて職員間で再度確認を行い、必要な設備を整えていきます。